

令和8年度 ブックスタート（3～4か月児）絵本リスト ※この中から1冊お選びいただけます

番号	絵本名	作者名	出版社	内容
1	にこにこ	Sassy/DADWAY LaZOO：文・絵・デザイン	KADOKAWA	いつもにこにこ、左右対称のはっきりした顔、白と黒や赤などのコントラストの強い規則的な模様。赤ちゃんの目を通して、心と脳の発達をうながします。さらに、赤ちゃんが大好きな言葉もいっぱい！ ぜひ、声に出してやりとりを楽しんでください。
2	ぎゅ	はるな檸檬：作/絵	文響社	絵本「ぎゅ」は、親子の絆を育む素晴らしいツールです。「ぎゅ」では、愛情や思いやり、友情といったテーマが描かれており、これらは親子の関係を一層強くします。この絵本は、ただの読み物ではなく、心を開き、絆を深めるための架け橋となるでしょう。
3	こちょこちょ	はるな檸檬：作/絵	文響社	「あかちゃんと、家で何をしておそんでいいかわからない」そんな声から生まれました。 臨床発達心理士の先生といっしょに作った、読みながらあそべる、はじめてのスキンシップ絵本。
4	いないいないばあ	きむらゆういち：作/絵	偕成社	子どもたちの大好きな「いないいないばあ」をしかけ絵本で！ かわいいキャラクターたちがお顔をかくして、「いない いない……」しかけをめくると「ばあ～」とお顔が出てきます。
5	ねむねむごろん	たなかしん：作・絵	KADOKAWA	さまざまな動物や赤ちゃんが、「ねむねむ」のかけごとと共に、あくびをします。 読み聞かせているうちに、あくびがうつって、子どもたちも段々うとうと…… 登場するキャラクターたちのポーズを真似することで、自然と布団に横になることができます。絵本が終わるとともに、ゆったりと眠りの世界に入ることができます。
6	しましまぐるぐる	かしわらあきお：著、イラスト	学研出版	生後6か月未満のまだ視力が発達していない赤ちゃんでも、「黒」「白」「赤」等の鮮やかな色や「ぐるぐる」柄等の繰り返しの模様注目すると言われていています。『しましまぐるぐる』の制作にあたり、実際に赤ちゃんに何度もイラストを見せて、赤ちゃんの反応がしっかりある色・デザインの絵本にしました。
7	ゆびさしなーに	とよた かずひこ：作/絵	アリス館	「ゆびさし」をテーマに参加型絵本。テキストどおり読まなくても大丈夫。絵を見ながら、いっぱい話しかけてくださいね。
8	きらきらぴかぴか どうぶつだいすき	滝 靖之：監修 あかいし ゆみ：イラスト	朝日新聞出版	きらきら光るホログラムは絵本の中でも、赤ちゃんに大人気。大好きなどうぶつの絵で構成しました。脳科学の見地からも、東北大学の脳科学者瀧先生が効果を解説しています。
9	きんぎょがにげた	五味太郎：作/絵	福音館書店	きんぎょが1ぴき、金魚鉢からにげた。どこににげた？ カーテンの赤い水玉模様の中にかくれてる。おや、またにげた。こんどは鉢植えて赤い花のふり。おやおや、またにげた。キャンディのびん、盛りつけたイチゴの間の間、おもちゃのロケットの隣…。ページをめくるたびに、にげたきんぎょがどこかにかくれています。
10	だいすき ぎゅっ ぎゅっ	フィリス・ゲイシャイトー、ミム・グリーン：作 デイビット・ウォーカー：絵	岩崎書店	朝ごはんを食べた後、ぎゅっ！ご本を読んだ後ぎゅっ！ママがぼうやを何度もぎゅっと抱きしめます。愛情がたっぷり子どもにふりそそぐ絵本。